

『健康』 ワンポイント アドバイス

健康だからできること 「献血」にご協力ください

健康でなければできないことはたくさんありますが、「献血」もその一つです。献血前の問診や検査は、ご自身が血液を提供しても大丈夫かどうかのチェックでもあるのです。献血ができること、それは健康である一つの証です。しかし、献血に来られた方の約1割が、比重不足で献血



栄 養 士 子
谷 理 恵 子

★たんぱく質の多いもの
肉類、乳製品、納豆など
★ビタミンCの多いもの
みかん、いちご、トマト、キャベツ、芋類など

人工的に造ることができない血液を十分に確保しておくためにも、絶えず皆さんの献血が必要となります。ご理解とご協力をよろしくお願いします。

【参考】献血の間隔

今回の献血量	400ml	今回の献血量	200ml
(次の献血は)	男性は12週間後、 女性は16週間後 の同じ曜日か できます。	(次の献血は)	男女とも4週間 後の同じ曜日か できます。

やっちゃん ぶうちゃん 作：アーモンズ vol.36 ボウのじまん...の巻



まちの文化財 ③③

今滝寺の弁才天像



今滝寺には、鎌倉時代から安土桃山時代までの約350年の間に制作された仏教絵画が多く保存されています。

その中で、養父市指定文化財は十六善神図(二幅)、八幡垂迹曼荼羅図(二幅)、涅槃図(二幅)、八木豊信像(一幅)などをはじめとする8件の軸画があり、今年3月6日、市指定文化財の中から十六羅漢図(九幅)、孔雀明王像(二幅)、弁才天像(二幅)、両界曼荼羅図(二幅)の4件、13幅が一度に県指定文化財になりました。

これは、平成16年度から3年かけて、県立歴史博物館学芸員

の橋村愛子氏や神戸大学の百橋明穂教授、市教育委員会が調査・研究した成果によるものです。

5月15日、神戸市の兵庫県公館において、兵庫県指定文化財指定書の交付式がありました。

今滝寺住職の明榮弘世氏と今滝寺総代の久田益生氏が出席し、兵庫県教育長から4枚の指定書が手渡されました。一度に4件の県指定文化財が増え、その総数は49件となりました。

これらの盗難防止対策などを検討した結果、市内に博物館施設がないため、県・市の指定文化財などは、すべて県立歴史博物館が管理・保管することになりました。

特に重要とされているのが弁才天像で、奈良国立博物館が4月7日から5月27日まで開催した特別展「神仏習合、かみとほとけが織りなす信仰と美」にも、兵庫県を代表して出品されました。

展示解説書には、「丁寧な筆致には崩れがなく、制作は14世紀にさかのぼる。弁才天に加えて毘沙門天が描かれている。弁才天と毘沙門天が七福神に加えられる、福德神が集まりつつある時期の全国的にも貴重な絵画だ」と解説しています。

(養父市教育委員会社会教育課)